



## 命の尊厳 人間としての幸せを今こそ

＝ 東日本大震災を乗り越えて ＝

持ちよろう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を

### 開催要綱

- **日時** 2011年11月12日(土)～13日(日) オプション企画 14日(月)
- **会場** 山形県天童市 天童温泉 天童ホテル
- **参加費** 2日間8,000円 1日間5,000円 (オプション企画込3日間 10,000円)
- **主催** 21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)
- **後援** 山形県 天童市 山形県社会福祉協議会 天童市社会福祉協議会  
宮城県社会福祉協議会 福島県社会福祉協議会

## ● 参加の呼びかけ

### 全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、老人福祉の新しい施設連絡会組織として、2002年6月に発足いたしました。

発足にあたって、

- ① 介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う
  - ② 高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
  - ③ 老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める
- これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

そして 第11回職員研究交流集会を、仙台で開催する予定で準備を進めておりました。

3月11日、未曾有の大地震と大津波が東日本を襲いました。亡くなられた方や行方不明の方は2万4,000人、避難生活をされている方々は11万人を超えています。加えて原発事故も深刻です。早急に、被害に遭われた方々への支援が必要でした。21・老福連の加盟施設では、すぐさま支援物資を被災地に届ける活動に取り組み、宮城・福島・山形の被災施設に、新潟・金沢を中継点にし支援物資を送り、被災者を励ました。又福祉避難所への人的支援も行いました。

国民が震災に目と心を奪われている中、国会では社会保障・介護保険法改定の議論が始まっています。震災は、最も困っている人の生命と生活を保障するのが、国や自治体の役割であることをあらためて教えてくれました。財源論を先行させるのではなく、住民が立ち行く復興のあり方、福祉の行方をこそ追及すべきです。

第11回職員研究交流集会実行委員会は、震災の諸事情から、開催地を仙台から山形に移し、「**命の尊厳、人間としての幸せを今こそ 東日本震災を乗り越えて** ～持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を～」をテーマに開催します。全国各地の豊かな援助実践を山形に持ちより、大いに学び交流を深めましょう。職員、関係者のみなさまの積極的な参加をお待ちしています。

## ● 日時

**2011年 11月12日(土) 14:30～18:00 (交流会 19:00～)**  
**13日(日) 9:00～16:15**

オプション企画 **13日(日) 17:30～14日(月) 12:00**

## ● 会場

**全体会・分科会・交流会 山形県天童市 天童温泉 天童ホテル**

## ● 参加費

**2日間8,000円 1日間5,000円 (オプション企画込3日間 10,000円)**

※ 11/12宿泊:天童ホテル 一泊二食・懇親会参加費込み 17,000円

※ 11/13宿泊:天童ホテル 一泊二食 込み 14,500円

和室・相部屋のため部屋割りについては実行委員会に一任願います

## ● 主催

**21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会 (略称=21・老福連)**

FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp

● お問い合わせ先 ● < 現地実行委員会事務局 >

特別養護老人ホームとかみ共生苑 (担当:高梨)

TEL 023-646-5050 FAX 023-646-5051 E-mail tokami@themis.ocn.ne.jp

## ● 申込方法

別紙、山新観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて山新観光にお申込ください。

★ 参加申込締切 9月5日(月) ★

申込受付後、10月下旬より山新観光より、参加確認書(参加券・宿泊利用券など)と請求書・振込依頼書をお送りいたします。

● テーマ

命の尊厳 人間としての幸せを今こそ =東日本大震災を乗り越えて=  
持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を

● 目的

震災で奪われたかけがえのない命、そしてあたたかな生活…。  
大震災があったからこそ、命や生活の重みを受け止め、大事にしていきたい。

私たちは、高齢になっても、人間としての尊厳ある生き方を貫くための制度を望んでいます。  
来年は介護保険法が改定されます。思いとこだわりをもってとりにくんでいる福祉の援助実践  
を交流し、薄れがちな公的福祉のあり方を問いなおしたいと考えます。

● プログラム

**1日目** 11月12日(土)

< 全体会 >

14:00～	受付開始
14:30～14:35	開会の挨拶
14:35～15:20	<b>21・老福連からの基調報告</b>
15:20～17:00	●記念講演「命の尊厳 — 平穏死を考える」 講師 石飛 幸三 氏 ( 特別養護老人ホーム芦花ホーム 常勤医 )
17:15～18:15	●特別報告 「災害時に社会福祉法人が果たす役割 ～東日本大震災の報告～」 講師 小野 ともみ 氏 ( 高齢者福祉施設 宮城野の里 施設長 )
18:15～18:20	事務連絡・1日目終了

< 交流会 >

19:00～21:00	●今年も交流会でキズナを深めましょう ( 詳細は12ページよりご確認ください ) いまや定番となった「全国津々浦々から地酒を持ち寄る手づくりの交流会」を今年も元気に開催します。なお、今回みなさんから送っていただく地酒は“ちよつとずつ多種類”を合言葉?に、4合サイズの720ml瓶を2～3本で募集したいと思います♪ もちろん当日の出し物?やお家芸?も募集しています!
-------------	---

**2日目** 11月13日(日)

< 分科会・全体会 >

8:30～	受付開始
9:00～16:00	20分科会(予定)で繰り広げられるアツい議論!( 詳細は6ページよりご確認ください )
16:00～16:15	閉会挨拶 ・ 次回開催地挨拶

**2日目 ②** 11月13日(日)

< オプション企画 >

17:30～19:00	●オプションA&B 合同企画 夕食懇親企画! ～ 夕食懇親プログラム ～ 「 秘密のシセツSHOW 」 <small>げんば</small>
-------------	--

**3日目** 11月14日(月)

< オプション企画 >

◆ 参加対象 ⇒	A コース 参加者 ※ 現場職員向け企画	B コース 参加者 ( 先着25名 ) ※ 管理者向け企画
9:00～11:40	●オプションA 企画 「 激論! 今さらだけどコレって何! ? 」	●オプションB 企画 被災地へ
12:00～	天童ホテルにて解散	仙台駅にて解散

● 全体会

11月12日(土)

● 基調報告

14:35~15:20

「地域包括ケアシステムと介護保険法改定」 講師：廣末 利弥  
( 21・老福連 代表幹事 社会福祉法人七野会 理事長 )

現在、「地域包括ケアシステムの構築」を柱にして、来年度の介護保険制度改定に向けた議論が行われています。高齢者福祉のあるべき姿と照らし合わせてこの議論を整理し、21・老福連の役割と将来展望について提起します。

● 記念講演

15:20~17:00

「命の尊厳 — 平穏死を考える」 講師：石飛 幸三 氏  
( 東京都世田谷区立 特別養護老人ホーム「芦花ホーム」 常勤医師 )

講師プロフィール：昭和10年11月2日生まれ。昭和36年 慶応義塾大学医学部卒業  
昭和45年 ドイツ、フェルディナント・ザウアーブルッフ記念病院で  
血管外科医として約2年間勤務  
昭和47年より東京都済世会中央病院勤務。平成5年 同病院副院長  
平成17年12月より芦花ホームに勤務

<著書>「平穏死」のすすめ — 口から食べられなくなったらどうしますか (講談社)

医療技術の進歩に伴い、老衰に伴う病態も延命治療が行われています。国民の80%が胃瘻を望まないとしていますが、老衰の80%に胃瘻が造られているのが現実です。高齢者の楽しみは美味しい物を食べることです。老衰の最期は水や栄養を吸収することができなくなります。老衰は食べられなくなるから死ぬのではなく、枯れて行くのが大往生＝「平穏死」なのです。命の尊厳—平穏死とは何か「老衰末期における医療過信を問う」を柱に講演致します。

● 特別報告

17:15~18:15

「災害時に社会福祉法人が果たす役割 ～ 東日本大震災の報告 ～」  
講師 小野 ともみ 氏 ( 高齢者福祉施設 宮城野の里 施設長 )

高齢者福祉施設「宮城野の里」は、仙台市東部での津波被害地域に最も近い場所に位置する施設です。震災翌日より地域包括支援センターを先頭に被災地に入り、地域の要望を聞き取りながら、被災者のニーズを把握する作業をはじめました。救援活動に奔走する中、家屋流出などの被災を受けた高齢者や認知症を抱えた高齢者が、居場所すらないまま一般の避難所で身を寄せているという現実問題に直面。直ちに受入先を確保する必要性を痛感し、施設に「福祉避難所」を開設することにしました。

わが国の地震は活動期に入り、いつどこで大きな地震が起きても不思議ではないといわれています。あの日施設が置かれた状況をご報告いただくとともに、私たちが災害時にどういった役割を果たすことができるのか、被災地の発信からともに学びあう時間にしたいと思います。

● オプション企画

11月13・14日(日・月)

今回は集会本編の企画は2日間で終わることになりますが、3日目(2日目夕刻以降～)は、【オプション企画A】(現場職員向け企画)と【オプション企画B】(管理者向け企画)の2つをご用意しています。

最終ページの申込書に記入する際は、【A】【B】どちらに参加を希望するか必ずご明記ください。なお、【オプション企画B】(管理者向け企画)につきましては、先着申込で定員25名とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

● オプション合同企画

13日 17:30~19:00

★ 夕食懇親プログラム 「秘密のシセツ(げんば)SHOW」

オプションA&Bの合同企画では、全員が参加する“夕食懇親プログラム”を実施します！あなたの施設の自慢・ローカルルールを声高らかに、全国の皆さんの前で発表してみませんか？「私の働いている施設は〇〇がすごい！」、「私の働いている職場には〇〇がある」、「うちの施設では〇〇手当てがある」などの施設自慢。そして、「夜勤者は必ず〇〇をする」「一年目の職員は、〇〇させられる」「〇〇は禁止！」などのローカルルール。もちろん、「こんな名物職員がいる」など、どんなネタ・情報でも結構です。この日に限っては存分に施設を自慢し合い、そして、お互いに共感・感嘆・驚愕して、あらためて自分の施設のセールス・ポイントを再発見する時間をみんなでたのしみましょう♡

● オプション企画A

14日 9:00~12:00

★ 現場職員向け企画 ⇒ 「激論！今さらだけどコレって何！？」

サービスという言葉で表現される今の福祉業界。本当に福祉の仕事が「サービス業」で良いのでしょうか…？いま一度“福祉の仕事とは何か”をみんなで考えてみませんか。正直、現場で働いている職員にとっては、“福祉の仕事”とを感じる機会は少ないのかもしれませんが。それは制度がそうしているのか。それとも自分達の仕事に対する意識がそうさせているのか…。いずれにしても、少なからず想いを持ってみなさんはこの仕事に就いたのではないのでしょうか？今はどうですか？「志高く仕事をしています！」と自信を持って言えるのでしょうか？日々の実践の中で「良く聞けど…よく言われるけど…。今さら聞けないし、なんとなくは分かっているけど、実際どういう意味なのかははっきりと分からない…」と感じている事柄はないですか？「豊かな暮らし」？「尊重」？「受容」？など、答えのないこの業界の“曖昧な表現”について、グループに分かれていろいろな意見を出し合ってもらおうと思います。そして、出された意見や想いをもとに、「私はこう思います！」と胸を張ってプレゼンテーションしてもらい、お互いに整理をする作業に挑みます。最終的には、会場で“一つの答え”を強引に導き出し、自分たちなりの「定義付け」をおこなってしまおうという企画です。意見が少数派であっても、他の皆さんの納得があった場合には、それが「定義」となります。実践の中で曖昧にされていることや疑問に感じることを、この企画を通して、スッキリ！「定義付け」してみませんか？

● オプション企画B

14日 9:00~12:00

★ 管理者向け企画 ⇒ 被災地へ

仙台市宮城野区まで実際に足を運び、当時この地域がどのような状況に置かれていたか、また、未だなお解消されていない現地での課題などをご説明いただきます。  
※なお、本企画は先着順・定員25名とさせていただきます。あらかじめご了承ください。